

事務事業名	100万本のバラ計画事業	整理番号	43203-010
所 管	商工観光課 観光スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 15年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 4-3 観光・集客による産業の活性化 政 策 4-3-1 観光・集客体制の強化	関連政策	4-1-1 農業の振興

事務事業の内容

目的 (何のために)	御殿場の気候や土壌に適した植物としてバラの栽培を試し、農地の有効利用の促進、富士山を背景とした美しい景観形成を図るとともに、集団化による観光施設としての可能性を追求する。
対象 (誰・何を)	市民、農家、ボランティア、観光客
手段 (どのようなやり方で)	御殿場の気候や土壌に適した栽培方法を試験し、農地の有効利用の観点から遊休農地への植栽を図る。その後は事業主体となる農家や民間企業との連携を図り、その集団化(100万本)を目指す。管理運営はボランティアによる協働事業とする。
成果 (どのような状態にしたいか)	農地の有効利用、景観形成が促進されるとともに、生ごみの堆肥化による肥料の使用も可能となる。またその集団化により観光農園や観光施設としての展開が可能となる。地域づくりに貢献する。
事務事業の背景・住民の意向	ゴミ減量化事業による生ゴミの活用、農業振興(農地の有効利用)、アウトレットに訪れる観光客の回遊、富士山を借景とした郊外の景観形成等のさまざまな大きな課題がある中で、それらに対応する施設が求められており、民間活力・主体が前提となるものの、市としてその事業起点としての可能性を探る。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	前年に引き続き、路地栽培を中心に、御殿場に向いている品種の試験と、土壌との適合性の調査を行った。	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>2,000</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>2,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>1,000</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	2,000	500	17年度	2,500	500	18年度	1,000	500
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	2,000		500											
17年度	2,500	500												
18年度	1,000	500												
平成17年度	4000㎡・1200株を植栽し、合計7000㎡・2300株・53品種のバラ園となった。推進委員会16名の組織ができた。													
平成18年度	100株を植栽し、合計7000㎡・2400株・53品種のバラ園となった。管理に関しボランティア52名の組織ができた。推進委員会が第1回ばら祭り及びバラの手入れ講習会を3回開催し、市民への普及に努めた。将来計画として「100万本のバラ基本計画」を策定した。													

評価指標

試験圃場の植込み面積(㎡)	試験圃場の植込み株数(株)	株当りのコスト(円)																														
<table border="1"> <caption>試験圃場の植込み面積(㎡)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積(㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	面積(㎡)	H16	3,000	H17	7,000	H18	7,000	H0目標	7,000	<table border="1"> <caption>試験圃場の植込み株数(株)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>株数(株)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>2,400</td> </tr> </tbody> </table>	年度	株数(株)	H16	1,000	H17	2,300	H18	2,400	H0目標	2,400	<table border="1"> <caption>株当りのコスト(円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コスト(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>H17</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table>	年度	コスト(円)	H16	2,500	H17	1,500	H18	700	H0目標	700
年度	面積(㎡)																															
H16	3,000																															
H17	7,000																															
H18	7,000																															
H0目標	7,000																															
年度	株数(株)																															
H16	1,000																															
H17	2,300																															
H18	2,400																															
H0目標	2,400																															
年度	コスト(円)																															
H16	2,500																															
H17	1,500																															
H18	700																															
H0目標	700																															

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント	
観点別評価 必要性 有効性 効率性	バラの試作圃場として、目的を達成することができた。	
	一次評価	B
	今後の方向性 拡大	
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント	
二次評価	B	基本計画に沿った事業を展開されたい。
		今後の方向性 拡大

改革プラン

平成19年度からの対応	登録ボランティアの増員を図る。 管理組織の組織作りについて検討する。
平成20年度以降の対応	管理組織の組織作りを図る。 他地区への普及を図る。
改革により予想される成果	御殿場ブランドの創出 観光客の滞在性・回遊性の向上 コミュニティーガーデンとして、市民対話・協働社会の構築に寄与する。